

中小企業のマーケティングに政府統計を活用しよう

政府統計の総合窓口e-Stat活用入門②

平成30年1月、「政府統計の総合窓口 e-Stat」＝政府統計のポータルサイト（総務省統計局が整備し、独立行政法人統計センターが運用管理を行っている）のシステムが刷新され、新たに運用が開始されました。前号（2018年8月1日第121号）に続いてe-Statの活用方法をご紹介します。

1. 政府統計の総合窓口 e-Stat のHPにアクセスする。

<https://www.e-stat.go.jp/>

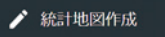
起動方法は『FINANCIAL FORUM 2018. SUMMER』No.121
京都総研 BUSINESS REPORT政府統計の総合窓口
e-Stat 活用入門（2018年8月）

https://www.kyotobank.co.jp/houjin/report/financial_forum.html
を参照願います。

2. 今回の活用事例

- (1) 自社の営業拠点を地図上に表示する。
- (2) 店舗から徒歩で一定の時間に到達が可能なエリアを地図上に表示する。
- (3) 当該エリアの情報を分析する。

(1) 自社の営業拠点を地図上に表示する

- ①右下の  をクリックするとメニューが現れるので、メニューの「プロット作成」を選択する。



地図で見る統計
(JSTATMAP)の
活用例

e-Statは、各府省等が実施してい

る統計調査の各種情報をこのサイトからワンストップで提供することを旨としたサイトです。ここでは、各府省等が公表する統計データ、公表予定、新着情報、調査票項目情報などの各種

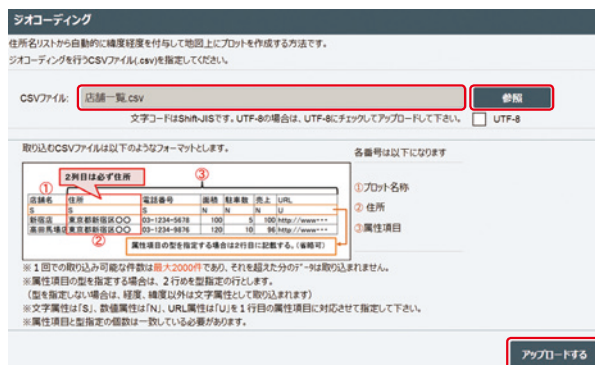
統計情報等をインターネットを通して利用することが可能です。前回に続き、地理情報システムである「地図で見る統計(JSTATMAP)」の活用例についてご紹介いたします。

②プロット作成は地図上に置くことができるポイント情報です。店舗の位置、お取引先の分布情報等を地図上で確認することができます。プロットの方法には地図上をクリックし画面上で登録する方法もありますが、ここでは店舗の住所から自動的に経度緯度を付与して、地図上に表示する「ジオコーディング」という方法をご紹介します。

○プロット作成メニューから「ジオコーディング」を選択



「店舗一覧のデータ」2列目に住所が入ったCSVファイルを作成しておき、「参照」をクリックし、PC上の当該ファイルを指定して「アップロードする」をクリックする。CSV形式はエクセルで作成した住所録を保存するときに「名前を付けて保存」を選び「ファイルの種類」でCSV（カンマ区切）を指定し作成可能です。



ファイル名(N): 店舗一覧
ファイルの種類(T): CSV (カンマ区切り)

店舗名	住所
本店営業部	京都府京都市下京区烏丸通松原上ル薬師前町700
四条支店	京都府京都市下京区四条通寺町西入ル奈良物町376
七条支店	京都府京都市下京区七条通大宮東入ル大工町107
京都駅前支店	京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町731
河原町支店	京都府京都市下京区河原町通五条上ル安土町612
大宮支店	京都府京都市下京区四条通猪熊東入ル唐津屋町510
西七条支店	京都府京都市下京区西七条北衣田町49番地2

変換結果が示されます。確認後、グループ名を入力、地図に表示するアイコンを選択し、「登録する」をクリックします。



緯度・経度が自動的に割り振られる

名称	住所	マッチング	マッチング
S	S		
本店営業部	京都府京都市下京区	34.99976	135.7594
四条支店	京都府京都市下京区	35.00356	135.7664
七条支店	京都府京都市下京区	34.98933	135.7498
京都駅前支店	京都府京都市下京区	34.98805	135.7601
河原町支店	京都府京都市下京区	34.99652	135.7663
大宮支店	京都府京都市下京区	35.00379	135.7506
西七条支店	京都府京都市下京区	34.98966	135.7327

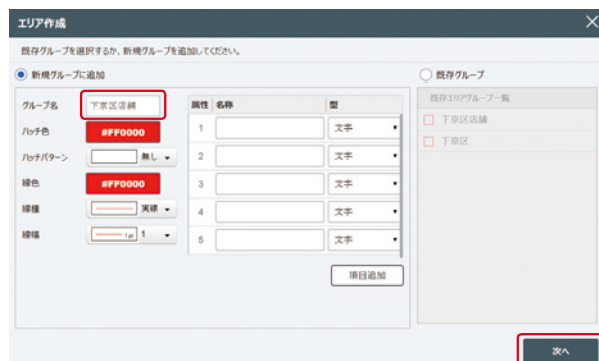
③店舗の所在地が地図上に表示されます。

(2) 店舗から徒歩で一定の時間で
到達可能なエリアを地図上に表示

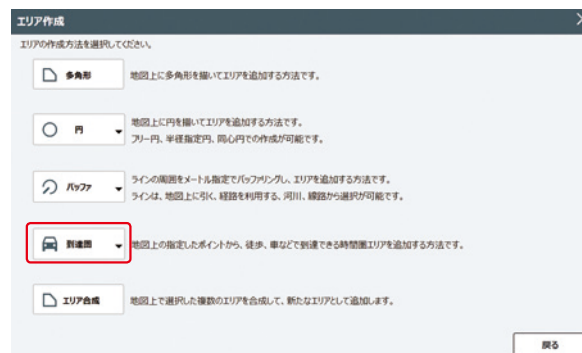
①この地図右下の「統計地図作成」
をクリックし、「エリア作成」を
をクリック。



②グループ名を「下京区店舗」と入力。「次へ」を
クリックすると、「エリア作成」が表示されます。



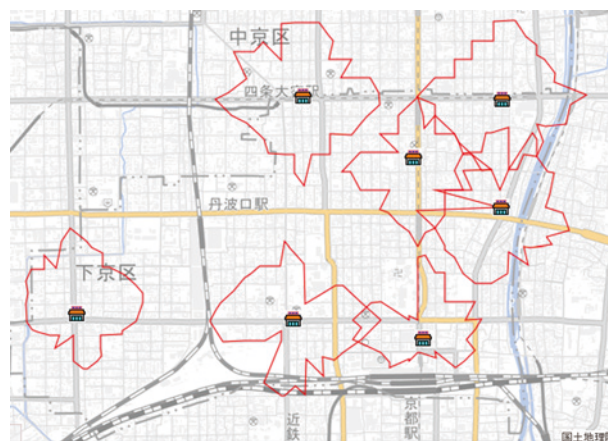
③到達圏をクリック。



④店舗からの到達圏を時間指定する。
ここでは「徒歩」で「10分圏」と入力し、
「到達圏一括作成開始」をクリック。

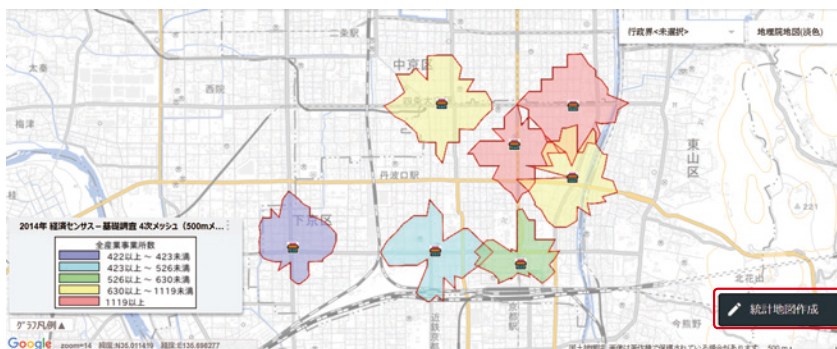


各店舗から徒歩10分で到達可能なエリアが表示されます。



(3) 当該エリアの情報を分析する。

徒歩10分圏内エリアの分析を行う。「統計地図作成」をクリックし、表示されたメニューから「統計グラフ作成」をクリック。当該エリアに関する各種統計リストからデータを選択し分析できます。ここでは「経済センサス基礎調査」、「全産業事業所数」2014年統計の単位を「500mメッシュ」を選択し、「次へ」をクリック。次の画面で「エリア」「按分する」をチェックし、「集計開始」をクリックすると、地図上にグラフが表示され、各エリア内の事業所数が視覚化されます。



参考 HP

https://www.e-stat.go.jp/help/view-on/map/about_gis

https://www.jstatmap.e-stat.go.jp/jstatmap/main/manual/gis_manual.pdf?1535356567937

さらに右下の「統計地図作成」をクリックし、「レポート作成」をクリック、「シンプルレポート」をクリックすると、各エリアの全事業所数が確認できます。

名称	全産業事業所数
七条支店-徒歩10分圏	525
京都駅前支店-徒歩10分圏	629
四条支店-徒歩10分圏	2254
大宮支店-徒歩10分圏	1118
本店営業部-徒歩10分圏	1133
河原町支店-徒歩10分圏	844
西七条支店-徒歩10分圏	422

2回にわたり、e-statの簡単な使い方を紹介しました。jSTATMAPを活用することによって、自社の所在地、新規出店候補地等の基礎統計データによる分析、グラフ化による見える化が可能です。

また、顧客の住所データを保有されている場合は、住所から緯度・経度にジオコーディングする機能もあり、これを利用することで地図上に顧客分布をプロットし、たとえばチラシを配布する場合、どの地域に配布すれば効率がよいか、店舗の商圈内でのどの地域に顧客が多い、あるいは少ない等を把握できます。顧客、エリアを知る、マーケティングの第一ステップに役立ちます。

従前は、こうした地図関連のソフトウェアはとても高価なものでした。今は、このお宝を無料で利用できるのですから、有難いものです。ぜひ、一度体験してみてください。

(株)京都総合経済研究所
調査部長 植舘孝寿

出所

◆政府統計の総合窓口 (e-Stat)
<http://www.e-stat.go.jp/>